

平成26年度農村漁村6次産業化対策事業  
食品産業グローバル展開インフラ整備事業  
(専門家派遣事業)  
報告書



<目次>

1. 事業概要
2. 実施方法
3. 実施案件の内容及び成果

## 1. 事業概要

### 企業のグローバル展開に際し、経営の要諦となるのは「人材」

HIDA登録専門家の現地企業への派遣により、現地企業の操業開始段階や実践的営業活動段階において専門家の実践的な指導・教育による現地人材育成を支援することを目的として、平成26年度は4案件の実施となり専門家4名が現地日系食品関連企業4社へ派遣された。

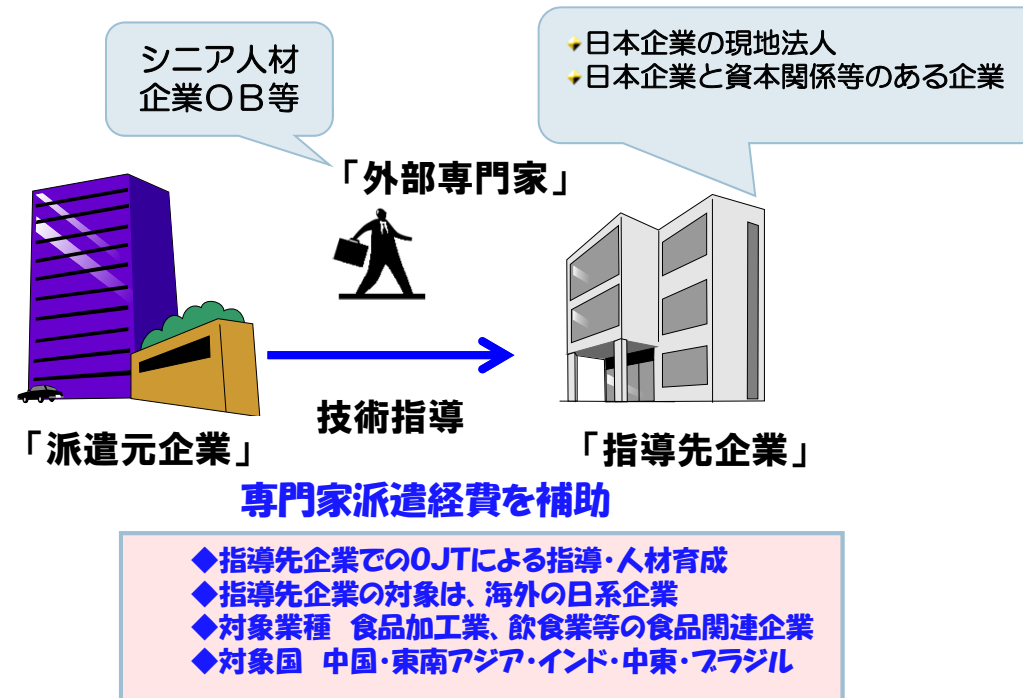


図-1 <専門家派遣事業の概要図>

2. 実施方法 専門家派遣の手続きの流れ（図-2）に従い、広報活動、データベース構築、派遣案件公募、案件形成、審査、派遣手続き、報告会等を実施した。

### 審査委員会の実施

派遣案件の背景、指導内容や専門家の業務歴、経験及び指導分野に関する指導の実現可能性などについて委員へ意見や助言を求め、公的資金を投入する上での妥当性の確保を図った。外部有識者からなる3名の委員を委嘱し、審査委員会を3回開催し5案件を承認した。

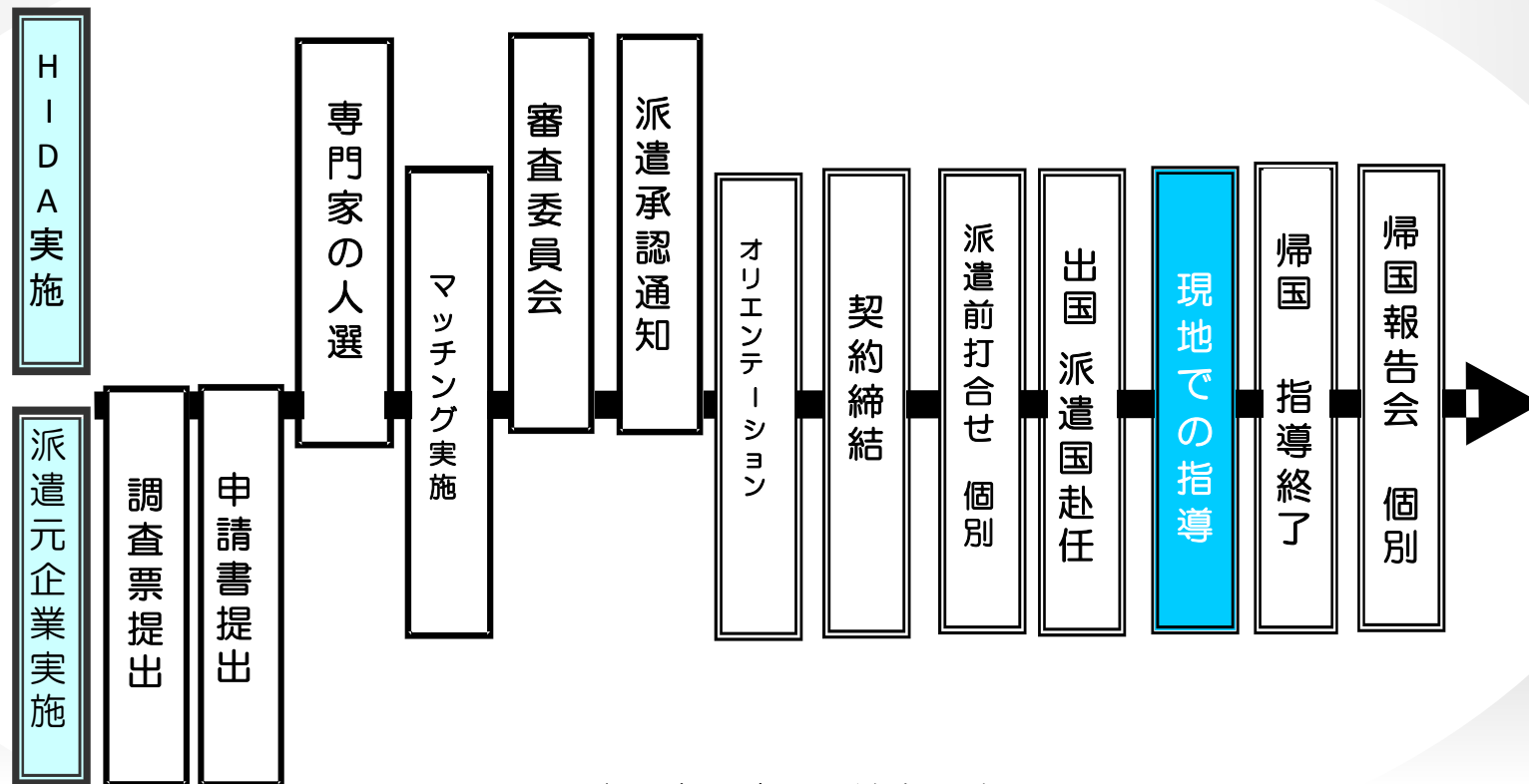


図-2 <専門家派遣の手続きの流れ>

出国  
2~3ヶ月前迄

### 3. 実施案件の内容及び成果

26年度に専門家派遣が実現したのは、審査承認を得た5案件のうち4案件となり、専門家は1案件につき1名ずつの計4名がそれぞれ1社ずつ計4社へ派遣された。

#### 専門家の指導内容：

いずれも飲食店経営に関する、新規出店における現地人材育成、店舗管理・経営、既存店における現地人材のレベルアップおよび店舗管理、既存店における経営基盤の強化育成

業態：和食店2件、ラーメン店1件、うどん店1件

進出先国：タイ（バンコク）2件、カンボジア（プノンペン）2件

派遣期間：1ヵ月から3ヵ月

#### 主な成果：

- ・指導期間中から新たな退職者が出なくなった。
- ・うなぎの白焼きが調理できるようになった。
- ・マネージャークラスは店舗管理運営の実施体制の確立、スタッフクラスは接客の基礎が身に着いた。
- ・経理面で一定レベルの理解はできるよう向上した。



H26年度食品産業グローバル展開インフラ整備事業（専門家派遣事業）（1/2）

専門家	: A 専門家
派遣国:	: タイ
派遣期間:	: 2015年2月～2015年3月（2ヵ月）
派遣元企業:	: B 社（愛知県）
指導先企業:	: C 社（バンコク）
背景:	<ul style="list-style-type: none"> <li>・派遣元企業は愛知県半田市を中心に県内でラーメン店6店舗、イタリアンレストラン等を展開の他、化粧品販売、システム開発等も行っている。</li> <li>・指導先企業は2008年に設立されバンコク市内で1店舗を経営、知多産の調味料を使い麺やチャーシューを内製、質の高い内容であるにもかかわらず比較的低価格にて提供し差別化を図っている。</li> <li>・日本大手のラーメン店の出店が相次ぎ、ローカル顧客の舌も肥えてきているので競争に生き残るのが難しい状況。また、人件費の高騰により、人材の質を高め日本と同等の人数で店舗運営しなければ店舗数増加が難しい現状である。</li> <li>・そこでA専門家を派遣し、サービス面のみならず、原価管理等経営面も見直し、現地スタッフの指導を実施し効率化を目指した。</li> </ul>

専門家	: E 専門家
派遣国:	: タイ
派遣期間:	: 2015年2月～2015年3月（1ヵ月）
派遣元企業:	: F 社（東京都）
指導先企業:	: G 社（バンコク）
背景:	<ul style="list-style-type: none"> <li>・派遣元企業は1988年に設立され、都内で3店舗、販売6店舗経営している。昨今の外国人観光客の増加を受け、日本の美味しい鰻料理を帰国後自国でも楽しみたいとの意見が多く寄せられるようになった。また、日本の鰻養殖業者からも輸出増加のために海外展開をして欲しい旨の要望も増えていた。加えて派遣元企業の主力店舗を構える日系デパートよりバンコク店への出店のオファーを受け市場調査した結果、タイ進出を決定した。</li> <li>・日本と同等の品質・サービスを確保するには、日本国内での人材不足から外部専門家の力を借りる必要に迫られた。E専門家を派遣して鰻の調理方法に関する指導を行った。</li> </ul>

H26年度食品産業グローバル展開インフラ整備事業（専門家派遣事業）（2/2）

専門家	H 専門家
派遣国：	カンボジア
派遣期間：	2014年12月～2015年3月（3カ月）
派遣元企業：	I 社（福岡県）
指導先企業：	J 社（プノンペン）
背景：	<p>・派遣元企業は2004年に設立され、創作和風イタリアン料理店2店舗を福岡市内で経営する他、健康食品販売を行っている。海外進出についてはタイでのヘルシードリンクバー出店に続いて、2013年にプノンペンに日本食レストランをオープンさせた。経営はほぼ計画どおりに進捗しており、このためプノンペン市内に2店舗目の新たなレストランをオープンさせることになった。しかしながら現在の顧客構成は、日本人約60%、日本以外の外国人約30%、カンボジア人約10%と、カンボジア人の来店が少ない。今後の多店舗展開のためには、カンボジア人の趣向に合わせサービスやメニュー内容等の改善を図り、さらに日本食の良さや日本的サービスを加味した付加価値を提供していく必要がある。そこで日本旅館での経験を通じて接客サービスや店舗運営ノウハウを豊富に有しているH専門家を派遣して現地従業員を指導した。</p>

専門家	J 専門家
派遣国：	カンボジア
派遣期間：	2014年12月～2015年3月（3カ月）
派遣元企業：	K 社（神奈川県）
指導先企業：	L 社（プノンペン）
背景：	<p>・派遣元企業は1989年に設立され、横浜を中心に大手ハンバーガーチェーンのフランチャイズ店舗経営を行っている。派遣元企業は国内のパートナー企業の海外展開に協力し資本参画をしない形でカンボジアでの飲食店経営に2013年の開業段階から参画しているが、運営管理の全般にわたってまだ整備されていない状態で店舗展開をしており、運営管理の仕組みと組織作りが必要となっている。指導先企業にとっては食品衛生についての仕組み作りが課題である。首都中心部の高層ビルへの店舗出店も目指しているが、実現のためには指導先企業の経営安定化の早期実現が必要である。このためJ専門家を派遣して飲食店の経営・運営管理に関する指導を行った。</p>